外来診療予定表(４月)

診療科		月	火	水	木	金	土
総合診療部 内科・外科 内視鏡 等	午前	塩田総院長 (外科)	大野(外科)	大野(外科)	鈴木(外科)	佐久間(外科) 第2.3.4	丸田(内科) 第1.3 帝京大(内科) 第2 ※午後休診※
	午後	—	吉村(内科) 初診受付16:00まで		吉村(内科) 初診受付16:00まで	伏見(外科) 初診受付16:00まで	
	午前	—	青木 (外科) (予約制)	大橋内科部長 〔糖尿病教育入院 外来〕 (予約制)(要紹介状)	—	★渡部(内科) 初診受付16:00まで	大木 (肝臓内科・内科) 第2.4
	午後	高柳 (糖尿病外来) 初診受付16:00まで	青木 (外科) 受付16:00まで	由井 (糖尿病外来) 初診受付16:00まで			—
脳神経外科	午前	足立	—	平井	—	青柳院長	平井
	午後	阿部 足立 初診受付16:00まで		平井 (予約制)	青柳院長 (要 問合せ) 診療15:00から	青柳院長 〔髄膜腫・ 神経鞘腫外来〕	—
整形外科	午前	塩田副院長	塩田副院長 第2 石井	塩田副院長	塩田副院長	塩田副院長 第3 石井 第1.2.4	塩田副院長 第2.4 石井
	午後	—		石井		塩田副院長 第3 (脊椎・脊髄外科外来) 石井 第1.4	—
	午前	—	大久保	—	立岩 第1 ★大見 第3	金城	山田 第1.3 蔵本 第4
	午後		大久保 第2.4 初診受付16:00まで		—	金城 第1.4 初診受付16:00まで 金子 第3(予約制)	—
循環器内科	午前	中津センター長	大橋	増田	髙木 第1.2.4 増田 第3	中津センター長	中津センター長 第1 髙木 第2 大橋 第3 増田 第4 ※午後休診※
	午後	髙木 (予約制)	—	—	—	大橋 (予約制)	
	午前	※予約外の患者様は、担当医師が変更になる場合があります。					—
婦人科	午前	遠藤名誉院長	遠藤名誉院長	—	遠藤名誉院長 第1.2.4	千葉大(交代制)	遠藤名誉院長
	午後		—	遠藤名誉院長 診療14:30から		—	—
サイバーナイフ外来	午前	—	—	—	宇野	—	—
	午後				—		
脳神経内科	午前	—	—	平田	—	—	—
	午後			—			
耳鼻咽喉科	午前	—	小谷 初診受付16:00まで	—	★スミス 第1.3	★細萱 初診受付16:00まで	帝京大(交代制)
	午後				原田 第2.4 初診受付16:00まで		—
泌尿器科	午前	—	—	—	天河 第1.2.4 初診受付16:00まで	—	—
	午後						
皮膚科	午前	—	—	—	—	—	—
	午後		河原 受付14:30から				

★印は女性の医師です。◎赤字は変更となった診療です。◎ 診療予定は変更となる場合があります。院内『お知らせコーナー』や『ホームページ』または、電話にてご確認ください。◎当日、急遽休診になる場合がありますので、ご了承ください。◎ 保険証は毎月確認させていただきますのでお持ちください。

受付時間:(月～金)8:30～11:30/13:30～16:30　(土)8:30～11:30

予約専用ダイヤル:0475－35－0002　(月～金)8:30～17:00

※お電話をおかけの際、診察券をお持ちの方はお手元にご用意ください。

医療法人SHIODA塩田記念病院広報誌

塩田記念病院だより

Vol.57　2018年4月号

医療法人SHIODA塩田記念病院　総務課発行　　ホームページ：http://www.s-fmc.jp
〒297-0203　千葉県長生郡長柄町国府里550-1　Tel:0475-35-0099　Fax:0475-35-0098

病院からのお知らせ

■医師の着任・退職のお知らせ

4月より新たに多くの医師が着任いたしました。症状等お悩みの際は、お気軽にご相談ください。
また、3月をもちまして退職された医師も多くおり、それに伴い、予約患者さまの担当医が変更になっていることがございます。予めご了承ください。
詳しくは、裏面に掲載しております外来診療予定表をご覧ください。

脳神経外科 医師
阿部 大数

【着任】

〈常勤〉

脳神経外科　阿部(あべ) 大数(だいすう) 医師　毎週月曜日 午後
東京医科歯科大学より

〈非常勤〉

総合診療部（内科）　吉村(よしむら) 智士(さとし) 医師　毎週火・木曜日 午後
前・国保大網病院

総合診療部（糖尿病外来）　由井(ゆい) 健智(けんち) 医師　毎週水曜日 午後
千葉ろうさい病院より

総合診療部（内科）　丸田(まるた) 亨(すすむ) 医師　第1・3土曜日 午前
千葉大学医学部附属病院より

総合診療部（内科）　帝京大学ちば総合医療センターより派遣　第2・4土曜日 午前
※4月の第4土曜日は休診とさせていただきます。

整形外科　大久保(おおくぼ) 寿樹(としき) 医師　毎週火曜日 終日（第1・3週午後を除く）
慶應義塾大学病院より

泌尿器科　天河(あまかわ) 亮(りょう) 医師　毎週木曜日 終日
日本医科大学多摩永山病院より

【受付時間】8：30～11：30 / 13：30～16：30
※診療開始は、午前の部は9時から、午後の部は14時からとなります。

【退職】

脳神経外科	佐藤 陽人 医師	総合診療部	白銀 大二 医師
総合診療部	土屋 恵美 医師	総合診療部	松谷 正一 医師
総合診療部	赤松 雅俊 医師	総合診療部	新野 徹 医師
整形外科	松林 紘平 医師	泌尿器科	飯ヶ谷 重来 医師

病気の豆知識～失神について～

皆さん、ちょっとした目眩(めまい)を自覚されたことはありませんか？目眩のみで、転倒による外傷などがなければ良いのですが、失神を伴う場合は無意識に倒れるため、打撲や骨折などを起こし、外傷患者として病院に搬送されることもあるので注意が必要です。

失神とは、突然起こる脳への血流不足によって起こり、全身の脱力と意識が一時的になくなることを言います。失神の原因で最も多いものが、「神経調節障害」という自律神経系の異常で、血圧が低下したり脈が遅くなったりします。失神を理由に受診をしても、既に意識が回復していることが殆どのため、原因を特定することが難しく(診断出来る確率 約50%)、これが失神を繰り返す原因にもなります。

原因を特定するためには、
①どのような状況で倒れたか ②目眩のような前兆の有無 ③意識がない時間 ④倒れた直後の血圧と脈拍
⑤失禁の有無 ⑥どんな薬を服薬しているか(降圧薬、抗不整脈薬、眠剤、アルコールなど)
⑦既往歴(心臓疾患からの失神は神経調節性障害の次に多い原因で重篤なものが多いです)
⑧麻痺の有無(脳梗塞などの頭の疾患を疑います) ⑨痙攣の有無(癲癇〔てんかん〕を疑います)
などの情報が重要です。原因が分かれば、治療や対応策がありますので、その後の失神による重篤な症状や怪我の予防に繋がります。特に④の情報は重要です。失神した際に、周囲の方が検脈のみでも確認が出来れば診断に大いに役立ちます。検脈は脈の速さ(速い：1秒に2回以上、遅い：2～3秒に1回)を確認することが重要です。しかし、大抵の場合、失神に直面して焦ってしまい、血圧・脈拍の情報がないことが多いのが現状です。時に致命的な心疾患が含まれているため、失神患者に直面した際は、周囲に応援を呼び、可能な限り血圧・脈拍の状態を確認し、病院に搬送することが重要です。失神までに至らず目眩を自覚された際にも、血圧や脈拍をチェックして頂き異常があれば、治療が必要な原因が隠れていることがあるかもしれません。ご心配な方は病院でご相談してください。

今回は失神についての説明ですが、それ以外でも何か重篤な強い症状があった際の血圧・脈拍は重要な情報となりますので、血圧・脈拍の測定の重要性を理解して頂ければと思います。

循環器内科 医師
増田 太一

栄養士のひとりごと

小鳥のさえずりで目が覚めると春がやってきたと心穏やかになる、そんな季節となりました。皆様、いかがお過ごしでしょうか。

今月は桜をテーマにお届けします。

春のこの時期、桜茶を楽しむ機会も多いと思います。慶事には欠かせない桜茶ですが、風味を楽しむだけではなく、健康効果も期待できるお茶であることをご存知でしょうか。効果を知って味わうとまたひと味違って味わえるかもしれません。

桜茶とは、塩漬けした桜の塩分を軽く落とし、湯呑に入れてお茶を注ぐと春の香りと供に優雅な桜の花が開きます。季節のお茶としてだけではなく、結婚式や結納などといったお祝いの席では縁起を担いだ桜茶でもてなします。八重に開く桜は一層お祝いの席を華やかにしてくれますね。

桜茶に入っている桜の香りにはクマリンという成分が含まれます。クマリンは抗酸化物質のポリフェノールに分類される香り成分で、抗菌作用、抗血液凝固作用、むくみ防止作用などがあります。多く含む食品には桜の葉、パセリ、ニンジン、ももなどがあります。そのままだと香りませんが、塩蔵にするなどすると、分解されて香りが出てきます。桜餅の香りはこのクマリンの香りです。お薬の成分としても用いられます。

この香りはリラックス効果が期待されますが、肝臓の機能を弱める働きが懸念されるため、過剰摂取には注意が必要です。楽しむ程度なら問題はないのでご安心を。江戸時代には、じんましんや咳止め薬に用いられていたとか。昔から生活に密接なお茶だったのですね。

お弁当やお酒でお花見も楽しいですが、桜茶と桜餅で身体いっぱい桜を味わうお花見もいかがでしょうか。ぜひ一度お楽しみください。

満開の桜のアーチを通り抜けると、もうすぐ新緑の季節です。
来月はどんなお茶と出会えますでしょうか。

次回もお楽しみに。

栄養科 管理栄養士 戸矢 静華

参考資料：Wikipedia・www.fancl.co.jp

5階病棟について

当院は115床の許可病床数を持っています。病棟は3・4階病棟と5階病棟の2つからなります。今回は5階病棟を紹介します。

＜病棟紹介＞

5階病棟は、循環器内科、婦人科、整形外科、総合診療部、内科、脳神経外科の49床の混合病棟です。部屋毎にトイレと洗面台のついている4床室を基本とし、他に急性期や緊急対応としての機能をもつ回復室、個室、4床特別室があります。

循環器内科では、急な胸痛により救急外来に運ばれ、急性心筋梗塞が懸念された場合は、即座にカテーテル室に入室し、緊急カテーテルから治療へと移行します。これは「Door to Balloon Time」といい、いかに早く確実に再灌流(さいかんりゅう)を得るかということであり、来院からバルーン治療までを90分で行えるように目指しています。そのために多職種とのよいチームワークとコミュニケーション、スピーディな対応が求められます。回復室に入室し、心電図モニターや医療機器に囲まれ、集中ケアが行われます。緊急での治療を優先する中、ご家族の存在を忘れがちですが、不安を軽減できるよう、丁寧な声かけを心がけています。

回復室

心臓リハビリテーションという言葉を聞いたことがありますか。心筋梗塞後は、心臓の機能や体力が低下しています。そのため心臓をいたわりながら、患者さまの低下した体力や精神的な自信を取り戻し早く社会復帰できるように、また質の良い生活を維持できるようにというリハビリテーションです。

具体的には廊下を往復歩行したり、心臓リハビリテーション室で自転車をこいだりし、看護師とリハビリスタッフが、少しずつ心臓に負荷をかけ、症状に変化がないか、心電図モニターに異常がないかを観察しながら運動療法を行うというものです。

退院に向けては、看護師による生活指導、栄養士による栄養指導、薬剤師による服薬指導があり、必要時はソーシャルワーカーも関わります。様々な職種のスタッフと情報を共有するために、週に1回、医師も含めチームでのカンファレンスを行っています。

4床特別室

婦人科や整形外科では、手術を行う患者さまが入院されます。患者さまに寄り添い、不安を和らげるような声かけを心がけています。手術当日は頻回にお部屋に伺い、体温や血圧などを測定したり、創部の観察をしたりします。腰から痛み止めのチューブが入る場合もあります。それでも痛みのある場合は早目に痛み止めを使用しています。手術後の疼痛は、食欲の低下や不眠を引き起こし、離床やリハビリを遅らせるため、積極的に疼痛緩和をはかっています。

総合診療部と内科では肺炎や脱水、尿路感染症、糖尿病の教育入院など様々な疾患の患者さまが入院されています。混合病棟であるため幅広い知識や技術が求められ、各々が勉強会や研修に参加し自己研鑽しています。

これからも５階病棟では、患者さまが安心して入院生活を送れるよう、常に患者さまの立場に立ち、丁寧で良心的な看護を提供できるよう日々努めていきます。

看護部 5階病棟師長 中村 紀子